

格付投資情報センター（R&I）は以下の格付を公表しました。

ニデック（証券コード：6594）

【維持】

発行体格付：AA- [安定的]

債券格付：AA-

CP格付：a-1+

【格付理由】

世界最大の総合モーターメーカー。多種多様なモーターおよび関連製品に加え、搬送用ロボットやプレス機、工作機械といった機器装置も手掛ける。製品と用途、販売地域の面で収益源は分散している。量産技術に優れ、共同購買や内製率の向上にグループ一体となって取り組んでいる。コスト競争力は強い。顧客の要望に迅速に対応できる開発・生産体制も整えており、多くの製品で競争優位を築いている。収益基盤は強固だ。

2023年度は電動車向け駆動用モーターの戦略転換に伴う構造改革費用を計上したものの、固定費削減や売価は正などを進めてきた精密小型モータ事業および家電・商業・産業用事業の利益増で吸収し、連結全体では増収増益だった。円安進行に伴う為替影響も利益を押し上げる。2024年度は主力事業が堅調に推移して2期連続の増益決算を見込んでいる。電動車向け駆動用モーターは通期の黒字化とその定着に時間を要しているものの、採算重視の戦略に転換したことで赤字幅が縮小している。他の事業による利益貢献が大きく、全体として格付に見合う高い収益力を確保していけるだろう。

純有利子負債は2023年度に減少に転じたが、過去に比べるとなお高い水準にあり、財務バランスは格付対比で改善余地がある。ニデックは生み出したキャッシュを設備投資や研究開発、M&A（合併・買収）といった成長投資と株主還元にて、M&Aがない場合には有利子負債の削減へと振り向ける方針を掲げている。今後も一定規模のM&Aを実施することが予想されるが、格付に照らして十分な規模・投資余力を備えている。利益拡大や運転資金の効率化によるキャッシュフロー創出力の改善見通しを踏まえれば、財務基盤が悪化する懸念は小さくなったと判断している。

【格付対象】

発行者：ニデック

【維持】

名称	格付	格付の方向性		
発行体格付	AA-	安定的		
名称	発行額	発行日	償還日	格付
第11回無担保社債(社債間限定同順位特約付)(グリーンボンド)	200億円	2019年11月28日	2026年11月27日	AA-
第13回無担保社債(社債間限定同順位特約付)	300億円	2022年7月12日	2025年7月11日	AA-
第14回無担保社債(社債間限定同順位特約付)	200億円	2022年7月12日	2032年7月12日	AA-
第15回無担保社債(社債間限定同順位特約付)	200億円	2022年11月24日	2025年11月21日	AA-
第16回無担保社債(社債間限定同順位特約付)	500億円	2022年11月24日	2027年11月24日	AA-
名称	発行限度額	格付		
コマーシャルペーパー	1,000億円	a-1+		

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先：経営企画部(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

格付関係者	ニデック
主任格付アナリスト	片山 真也
信用格付を付与した日	2024年12月24日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2024/06/24]、電子デバイス [2021/12/23]、設備機器等 [2022/05/27]、自動車部品 [2022/08/19]
情報提供者	格付関係者

利用した主要な情報	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等
品質確保のための措置	公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。
格付方法の概要	次のウェブサイト上に上記格付方法及び考慮した他の格付方法をともに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html
評価の前提	次のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html
格付符号と定義	次のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html

信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

一般に投資に当たって信用格付に過度に依存することが金融システムの混乱を引き起こす要因となり得ることが知られています。

信用格付の付与について代表して責任を有する者	丸山 博哉
信用格付業者登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官(格付)第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画部(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/does/policy/site.html> をご覧ください。